

滝下昭和堂菓舗

所在地 桜井町 3-3-30

創業 昭和2年

従業員数 2人

事業内容 菓子の製造・販売



店主
滝下 正利さん

当店は、和洋菓子の製造・販売を行う菓子店です。現在の場所、昭和2年に私の父が和菓子店を始めたことが始まりで、来年には創業100年を迎えます。

私は高校卒業後、東京の日本菓子専門学校に進み、和洋菓子の製造を学びました。卒業後、水俣に戻って店を手伝うようになり、洋菓子も取り扱うようになりました。現在は、私が菓子を作り、妻が包装を担当するなど、二人で店を切り盛りしています。

商品は、栗まんじゅうをはじめ、ロールケーキ、チーズケーキ、プリンなどを販売しています。中でもおすすめは、創業当時から作り続けている栗まんじゅうです。ごろっとした栗の甘露煮を、自家製の白あんと薄皮で包み、焼き上げています。素材の味を生かしながら、全て手作業で一つ

一つ丁寧に作っています。栗まんじゅうなど一部の商品は、道の駅みなまたでも販売しています。

まちおこしのために市内の菓子店と市職員が始めた「スウィーツのまち水俣実行委員会」の活動にも、発足時から参加しています。現在も、同業者たちとイベントへの出店や、定期的な情報交換を行いながら、水俣の菓子の魅力を発信しています。

昭和、平成、令和と営業を続け、昔から足を運んでくださるお客さまも多く、店を続けていく励みになっています。商店街の景色も少しずつ変わり、少し寂しい気持ちもありますが、妻と二人三脚で、一日でも長く営業を続けていけたらと思っています。



▲栗まんじゅう、チーズケーキ、オムレットなど和洋いろいろな菓子を販売しています。

最近は、私たちの頃と違い、街中で子どもたちを見かけることも少なくなってしまう、寂しく思っています。

水俣で暮らしている子どもたちがこれからも水俣に残れるように、そして、将来も水俣に残って働く仕事があり、いきいきと元気に暮らしていけますようにと祈っています。



▲実行委員会の会員らとイベントに出店